

全国の自治体様へ「木造人工島のブルーカーボン」設置のお願い。

日本の各地からの同時発祥（連携と競争）の「木造人工島のブルーカーボン」の世界への普及で、化石燃料を使い続けながらも、ドラスチックな CO₂ の削減にて、早期（2040 年頃）にカーボンニュートラルの達成を致しましょう。

どこの自治体様も、カーボンニュートラル達成の技術シナリオなしに、すなわち、先の見通しのないままに、実施がしやすいものから、しかも実施がしやすい内容（後は知らない）にて進めておられて、とても残念に思います。

ご存じだと思いますが、例え 100%再エネ機器や原子力エネルギーに切り替わったとしても、CO₂ 排出の全体の 40%程度が、生物の生活や人間の各種生産によるものですので、永遠にカーボンニュートラルは達成されません。

従いまして、再エネ機器に先行し、CO₂ の削減技術を検討していかなければならないと考えており、各省庁や首相官邸、複数の自治体や国連にも お声がけをしております。

従来のブルーカーボン（海藻による光合成・CO₂ の固定）は、自然生育のものを見守る程度しかできず、魚により捕食され、また観光開発や商業開発で藻場が減ることはあっても、増加をすることはありませんでしたので、カーボンニュートラルの達成に向けての見通しは暗いものでした。

「木造人工島のブルーカーボン」では、世界中のありとあらゆる（商業施設や観光施設等を除く）沿岸部や無人島周囲に展開でき、世界が同時に進めれば、もし再エネ機器が遅々として進まず、化石燃料を使い続けても、2040 年頃にはカーボンニュートラルが達成できるのではないかと見ております。以下の特許情報をご参照下さい。

https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7675467

「木造人工島のブルーカーボン」は低コスト、短納期、長寿命（千年維持）、環境にやさしいという特徴があり、今後並行して、高効率の光合成を行う藻種の開発が必要ですが、世界が協力し合い、競争と連携を密に行うことにより、必ずしや、よい藻種が生まれ、世界中で一斉にすすめることで、早期に世界の目標が達成されると考えています。以下の URL をご参照下さい。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_9d5829003e6b41edad694b730159e5b0.pdf

現状の再エネ機器の設置計画に合わせて、「木造人工島のブルーカーボン」を加えた形にて、上記 URL の P1 の図のような、CO₂ の削減量が見える形にて、日本全体（世界全体）の将来のカーボンニュートラルの達成のための技術シナリオをぜひ作成して欲しいと考えております。

（上記 URL の P1 の図を参考にして、技術シナリオを作成してください。）

<木像人工島のブルーカーボンの設置方法案>

大型船に、加工済みの木材、ビニールシート、培養土、防魚ネット、水槽内の海草等を積み込み、（座礁しないよう）沖合の海上を航行し、大型船上にて「木造人工島のブルーカーボン」を組み立て、完成ユニットをクレーンで沖合にて降ろし、小型船、あるいはワイヤーロープ等を使って、陸地側に設置した巻き取り機で、陸側に（海岸沿い）に牽引・移動することを考えています。

尚、「木造人工島のブルーカーボン」のユニットの固定は、海岸側に頑丈な鉄筋コンクリートの固定台を設定して、そこにゆるゆるな接続固定をすることで、また木造人工島の変形により、潮の満ち引きや津波、台風や嵐等にも耐えられるものと考えています。

また、完成ユニット同士の連結固定は、複数の太い木製リベットで位置決めをした上で、接着で連結をしていきます。

こまめなメンテナンスは必要と考えていますが、1000年以上は維持するものになります。

<「木造人工島のブルーカーボン」のお取組のお願い。>

なんらかの形で、先陣を切って、ご協力・ご貢献をいただきました、研究機関・大学・企業・自治体様には（合法的な形で、ご貢献度に応じ）莫大な金額の特許対価を分配致しますので、推進にご協力いただきたくお願い致します。

「進め方手順案」

手順としまして、貴県下の複数の木材建築メーカーに、特許の図面をもとに設計を競わせ、優良なものを2～3選択し、安全に見学可能な海岸に設置し、全国及び全世界の担当技術の人達に見に来ていただき、また必要な情報を渡し、彼らがそれらの情報を持ち帰り、検討・設計・設置をしていただくことを考えています。

また、高効率の光合成を行う藻種の開発も急務であり、日本では理化学研究所を筆頭に、各大学や各研究機関に、海外は姉妹都市の大学や研究機関を筆頭に、世界中の希望する研究機関・大学に、首長様より研究開発の競争と連携を呼び掛けていただけますと助かります。

以上、ご連絡をお待ちしております。なにとぞ、よろしくお願い致します。

川崎市宮前区：ガーデンフィールド株式会社 代表 廣田祐次

ホームページ：<https://www.garden-field.com/>

メール：hiroya.yuji@garden-field.com 電話：090 - 5203 - 8627

第二メールアドレス：taroul77.jp@yahoo.co.jp
